

2024年6月28日現在

## 修了評価の方法

評価基準作成者： 岩木秀樹

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <p>1巻 介護・福祉サービスの理解（3ページ～367ページ） 2巻 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解（3ページ～271ページ） 3巻 こころからだのしくみと生活支援技術（3ページ～485ページ） までとする。</p>
	<p>2 出題形式</p> <p>五肢択一形式とする。</p>
	<p>3 出題数</p> <p>択一問題32問（配点3点または4点） 全問正解：100点満点</p>
	<p>4 合否判定基準</p> <p>60点以上</p>
	<p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"><li>結果発表後、直ちに1時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は60点以上とする。 補習料：1時間あたり0円 再評価料0円</li><li>再試験を最大2回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には補習授業を行う。 再試験料：1回あたり0円</li><li>不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い再試験を行う。</li></ul>